

連合「なんでも労働相談ダイヤル」 (☎ 0120-154-052)
2015年12月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体件数は、前年同月に比べて767件多く、計2067件の相談が寄せられた。相談数が大幅に増加したのは、12月10日～11日に実施した全国一斉労働相談キャンペーンにおいて、過去最多となる979件の相談が寄せられたことが背景にある。

■前年同月に比べて、パート（2.4%増）・アルバイト（3.2%増）の雇用形態で働く人からの相談が増加した。また、相談内容では「不払い残業・休日手当・割増賃金未払」についての相談が、前年同月に比べて124件・2.6%増加し、244件・11.8%となった。

■具体的な相談としては、「正社員として働いているが、1日8時間以上働いても固定給だからと残業代の支給はない。年次有給休暇もとれず、やむを得ず休んだ場合はシフトの休日が出勤日にされる」、「人員削減により派遣先での時間外労働が毎月50時間越えているが、派遣元から45時間以上の残業は困るといわれ、毎月43～44時間で残業の申請をしている」、「アルバイト先で勤務時間後の業務に賃金が支払われないので、支払うよう求めたら解雇された」といった相談が寄せられた。

		2015年			2014年		
集計対象期間		12月1日～12月31日			12月1日～12月31日		
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		2,067			1,300		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目		内容	件数	割合	内容	件数	割合
性別 (未報告除く)	男性		1,167	56.7%	男性	732	57.8%
	女性		892	43.3%	女性	534	42.2%
年代 (不明除く)	10代		16	1.0%	10代	9	0.9%
	20代		249	15.3%	20代	164	16.4%
	30代		286	17.6%	30代	208	20.7%
	40代		529	32.6%	40代	318	31.7%
	50代		353	21.7%	50代	184	18.3%
	60代		160	9.9%	60代	108	10.8%
	70代		30	1.8%	70代	12	1.2%
雇用形態 (不明除く)	正社員		990	51.6%	正社員	651	54.8%
	パート		310	16.2%	パート	164	13.8%
	アルバイト		160	8.3%	アルバイト	61	5.1%
	派遣社員		100	5.2%	派遣社員	88	7.4%
	契約社員		149	7.8%	契約社員	111	9.3%
	嘱託社員		18	0.9%	嘱託社員	12	1.0%
	臨時・非常勤職員		17	0.9%	臨時・非常勤職員	10	0.8%
	その他		175	9.1%	その他	92	7.7%
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	267	18.2%	サービス業(他に分類されないもの)	156	17.4%
	2位	医療・福祉	213	14.5%	医療・福祉	146	16.2%
	3位	製造業	207	14.1%	製造業	136	15.1%
	4位	卸売・小売業	194	13.2%	卸売・小売業	114	12.7%
	5位	運輸業	145	9.9%	運輸業	100	11.1%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	244	11.8%	解雇・退職強要・契約打ち	120	9.2%
	2位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	201	9.7%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	112	8.6%
	3位	雇用契約・就業規則	156	7.5%	雇用契約・就業規則	98	7.5%
	4位	解雇・退職強要・契約打ち	152	7.4%	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	87	6.7%
	5位	賃金未払	124	6.0%	退職金・退職手続	87	6.7%